



# Cisco Nexus 5000 シリーズの設定の制限値 Cisco NX-OS Release 5.2(1)N1(1)

発行日 : 2012 年 7 月 13 日  
Part Number : OL-25851 -01-J  
最新リリース : Cisco NX-OS Release 5.2(1)N1(1)

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、Cisco NX-OS Release 5.2(1)N1(1) での Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチの設定の制限値について説明します。このマニュアルは、「[関連資料](#)」(P.11) に示されたマニュアルと併せて使用してください。

## 内容

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 「[概要](#)」(P.2)
- 「[Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチのレイヤ 2 トポロジの設定の制限値](#)」(P.2)
- 「[Cisco Nexus 5000 プラットフォームのスイッチのレイヤ 2 トポロジの設定の制限値](#)」(P.4)
- 「[レイヤ 2 およびレイヤ 3 のトポロジの設定の制限値](#)」(P.5)

- 「レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE トポロジの設定の制限値」 (P.6)
- 「レイヤ 2 スイッチング Adapter-FEX/VM-FEX の設定の制限値」 (P.9)
- 「レイヤ 2 スイッチング Cisco TrustSec の設定の制限値」 (P.10)
- 「関連資料」 (P.11)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.13)

## 概要

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチは、ラインレート、低遅延、ロスレス 10 ギガビット イーサネット、Cisco Data Center Ethernet、Fibre Channel over Ethernet (FCoE)、および現在のネイティブ ファイバ チャネルに対応した、データセンター アプリケーション向けのスイッチのファミリで構成されています。Cisco Nexus 5000 シリーズには、Cisco Nexus 5500 プラットフォームと Cisco Nexus 5000 プラットフォームが含まれます。

Cisco NX-OS Software Release 5.0(3)N2(1) では、データセンター クラスの Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチの機能を拡張し、高密度、低遅延、マルチレイヤの各サービスを提供する、2 つの新しい Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチが導入されます。

Cisco Nexus 5000 プラットフォームには、次のスイッチがあります。

- Cisco Nexus 5020 スイッチ
- Cisco Nexus 5010 スイッチ

Cisco Nexus 5000 シリーズの詳細については、『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 5500 Platform Hardware Installation Guide』を参照してください。

Cisco Nexus 5000 シリーズおよび Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチは、規模を検討するために、次の導入シナリオの下でテストされました。

- レイヤ 2 のみの導入
- レイヤ 2 とレイヤ 3 を組み合わせた導入
- ファイバ チャネルおよび FCoE の導入



(注)

検証トポロジには、確認済みの制限値が同時に設定された機能をすべて含めました。特定の機能の制限の上限は、特定のプラットフォーム上の設定の制限値またはハードウェアの制限です。

## Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチのレイヤ 2 トポロジの設定の制限値

この項では、レイヤ 2 機能設定のみが含まれているトポロジでの設定の制限値について説明します。

表 1 に、Cisco NX-OS Release 5.2(1)N1(1) での Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチのレイヤ 2 設定の制限値について説明します。

表 1 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 トポロジの設定の制限値

機能	Cisco Nexus 5500 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN	1000 <sup>3</sup>	4013 (31 は VSAN 用に予約)
VLAN/VSAN ID スペース	未予約領域 4013	未予約領域 4013
論理インターフェイス <sup>4</sup>	16,000 <sup>5</sup>	32,000 <sup>6</sup>
スイッチあたりの VLAN ACL (VACL)	128 (10 個の一意の VACL)	1024 (すべての VACL で最大 2048 の ACE エントリに対して、62 個の一意の VACL)
スイッチあたりのポート ACL (PACL)	1152	1152
EtherChannel あたりのメンバインターフェイス	16	16
IGMP スヌーピング グループ	8000 <sup>7</sup>	8000
Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチあたりの FEX の最大数	24	24
vPC Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチ ペアにデュアル ホーム接続された FEX の最大数	24	24
MAC テーブル サイズ	25000 のユニキャスト エントリおよび 4000 のマルチキャスト エントリ	32000
スイッチ ポート EtherChannel の数	48 : Nexus 5548 または Nexus 5548UP スイッチ	48 : Nexus 5548 または Nexus 5548UP スイッチ 96 : Nexus 5596 スイッチ
FEX ポート チャンネルの数/vPC (FEX の最大数を超過)	576	1152
SVI の数	2	256
FabricPath VLAN	1000 <sup>8</sup>	4000
FabricPath スイッチ ID	128	128
FabricPath マルチキャスト ツリー	2	2
FabricPath トポロジの数	2	2
FabricPath コア ポート チャンネルの数	それぞれ 4 個のポートを備えた 4 個のコア リンク	16

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルにした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。
3. 4013 の VLAN が、レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャンネルおよび FCoE トポロジの設定の制限値について検証済みです
4. 論理インターフェイスは、ポート数と VLAN の数を掛け合わせたものです。このパラメータはポート プログラミング処理の負荷を反映し、スパニングツリー モードまたは設定に依存しません。

5. 32,000 の STP 論理インターフェイスがトポロジで検証されました。
6. 32,000 の PV の基準数は、PVST、MST および非 STP モードに適用されます。
7. IGMP スヌーピング グループのデフォルトの最大限度は 4000 ですが、**hardware multicast snooping group-limit 8000** コマンドを使用して 8000 まで増やすことができます。
8. 4000 の FabricPath VLAN が、ユニファイドファブリック トポロジでテスト済みです。

## Cisco Nexus 5000 プラットフォームのスイッチのレイヤ 2 トポロジの設定の制限値

表 2 に、Cisco Nexus 5000 シリーズのデュアル ホーム接続のファブリック エクステンダ設定が含まれるトポロジでの設定の制限値を示します。

**表 2 Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 スイッチング デュアル ホーム接続のファブリック エクステンダ設定の制限値**

機能	Cisco Nexus 5000 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN	507	507 (FCoE がイネーブルの場合は 504 - 31 は SAN 用)
VLAN/VSAN ID スペース	未予約領域 4013	未予約領域 4013
論理インターフェイス <sup>3</sup>	12,000	12,000
スイッチあたりの VLAN ACL (VACL)	128 (10 個の一意の VACL)	1,024 (128 個の一意の VACL)
スイッチあたりのポート ACL (PACL)	576	576
EtherChannel あたりのメンバインターフェイス	16	16
IGMP スヌーピング グループ	1000	1000
Cisco Nexus 5000 シリーズあたりの FEX の最大数	12	12
vPC Cisco Nexus 5000 シリーズにデュアル ホーム接続された FEX の最大数	12	12
MAC テーブル サイズ	13,800	16,000
スイッチ ポート EtherChannel の数	16 (組み合わせで 16 を超えず、EtherChannel ごとに合計で最大 16 ポート)	16 (組み合わせで 16 を超えず、EtherChannel ごとに合計で最大 16 ポート)
FEX ポート チャネルの数/vPC (FEX の最大数を超過)	576	576
SPAN セッション	2 つのアクティブ セッション TX 送信元として 32 の送信元 VLAN	2 つのアクティブ セッション TX 送信元として 32 の送信元 VLAN
設定可能な QoS グループ (クラス デフォルトを含む)	5	5
ドロップなし QoS グループ	1 クラス : FCoE ドロップなし	3 (FCoE を含む)

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。
3. 論理インターフェイスは、ポート数と VLAN の数を掛け合わせたものです。このパラメータはポートプログラミング処理の負荷を反映し、スパンニングツリー モードまたは設定に依存しません。

## レイヤ 2 およびレイヤ 3 のトポロジの設定の制限値

表 3 に、Cisco NX-OS Release 5.2(1)N1(1) が使用されている Cisco Nexus 5500 プラットフォーム スイッチで、レイヤ 3 モジュール (N55-D160L3、N55-M160L3) を使用している場合の設定の制限値を示します。

**表 3 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 およびレイヤ 3 の設定の制限値**

機能	Cisco Nexus 5500 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN	1000 <sup>3</sup>	4013 (31 は VSAN 用に予約)
VLAN/VSAN ID スペース	未予約領域 4013	未予約領域 4013
STP のインスタンス	16,000	16,000
EtherChannel あたりのメンバインターフェイス	16	16
IGMP スヌーピング グループ	8000 <sup>4</sup>	8000
Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチあたりの FEX の最大数	16 <sup>5</sup>	16 <sup>5</sup>
vPC スイッチ ペアにデュアル ホーム接続された FEX の最大数	16 <sup>5</sup>	16 <sup>5</sup>
MAC テーブル サイズ	23,400 のユニキャスト エントリおよび 4000 のマルチキャスト エントリ	32,000 <sup>6</sup> エントリ
FEX ポート チャンネルの数/VPC (FEX の最大数を超過)	470	768
SPAN セッション	2 つのアクティブ セッション TX 送信元として 32 の送信元 VLAN	4 つのアクティブ セッション TX 送信元として 32 の送信元 VLAN
SVI の数	256	256
ダイナミック ルート <sup>7</sup>	16,384 <sup>8</sup> (IPv4 ルートおよび IPv6 ルートを含む)	16,384 (IPv4 ルートおよび IPv6 ルートを含む)
V6 LPM ルート	128 エントリ	128 エントリ
マルチキャスト ルート	2000	8000 <sup>9</sup>
マルチキャスト グループ	4 K	8 K

表 3 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 およびレイヤ 3 の設定の制限値 (続き)

機能	Cisco Nexus 5500 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
RACL	62 の入力 RACL (すべての RACL で最大 1664 個の ACE エントリ)	62 の入力 RACL (すべての RACL で最大 1664 個の ACE エントリ)
VRF	25	1000
ARP	6500 <sup>10</sup>	8000
HSRP グループ	256	256
VRRP グループ	256	256

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。
3. 4013 の VLAN が、レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネルおよび FCoE トポロジの設定の制限値について検証済みです。
4. IGMP スヌーピング グループのデフォルトの最大限度は 4000 ですが、**hardware multicast snooping group-limit 8000** コマンドを使用して 8000 まで増やすことができます。
5. 24 の FEX がレイヤ 2 トポロジで検証されました。
6. 24,000 のエントリがユニキャスト MAC アドレスに予約され、3,400 のエントリが IGMP グループに予約されます。
7. BGP/RIP/OSPF を含むルーティング プロトコル。
8. ユニキャスト v6 のルートは、**hardware profile ucast6 max-limit 8000** コマンドを使用して 8000 に設定できます。
9. マルチキャスト ルートのデフォルトは 4000 ですが、**hardware profile multicast max-limit 8000** コマンドを使用して 8000 まで増やすことができます。
10. 最大 LPM エントリ、ARP エントリ、プラス SVI ルート エントリの合計は、12,000 エントリです。

## レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE トポロジの設定の制限値

表 4 に、レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE 設定を使用する Cisco Nexus 5500 シリーズ ユニファイド ファブリック スイッチが含まれるトポロジでの設定の制限値を示します。

表 4 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE の設定の制限値

機能	Cisco Nexus 5500 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN	4013	4,013 (31 は VSAN 用に予約、残りは VLAN 用)
VLAN/VSAN ID スペース	未予約領域 4013	未予約領域 4013
論理インターフェイス <sup>3</sup>	32,000	32,000

表 4 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE の設定の制限値 (続き)

機能	Cisco Nexus 5500 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
IGMP スヌーピング グループ	8000	8000
スイッチあたりの FEX の最大数	9	24
MAC テーブル サイズ	23000 <sup>4</sup> のユニキャストおよび 4000 のマルチキャスト	32,000
スイッチ ポート EtherChannel の数	8	48 : Nexus 5548P および Nexus 5548UP スイッチ 96 : Nexus 5596UP スイッチ
SPAN セッション	2 つのアクティブ セッション TX 送信元として 32 の送信元 VLAN	4 つのアクティブ セッション TX 送信元として 32 の送信元 VLAN
FEX ポート チャネルの数/vPC (FEX の最大数を超過)	288	768
FabricPath VLAN	4000	4000
FabricPath スイッチ ID	128	128
FabricPath マルチキャスト ツリー	2	2
FabricPath トポロジの数	2	2
FabricPath コア リンクの数	2	16
スイッチあたりのネイティブ FC リンク	8	8 : Nexus 5548 スイッチ 48 : Nexus 5548UP スイッチ 96 : Nexus 5596UP スイッチ
N Port Virtualization (NPV) ポートグループあたりの Fabric Login (FLOGI; ファブリックログイン) または FDISC の数	180	255
スイッチあたりのゾーンセット	32	500
物理ファブリックあたりのゾーンメンバ (すべての VSAN を含む)	1280	8000
スイッチあたりのゾーン (すべての VSAN を含む)	640	8000
SAN ファブリックの最大直径	7	12
スイッチあたりの FSPF インターフェイス インスタンス	192	256 : Nexus 5548 スイッチ 1536 : Nexus 5548UP スイッチ 3072 : Nexus 5596UP スイッチ

**表 4 Cisco Nexus 5500 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 スイッチング、ファイバ チャンネル、および FCoE の設定の制限値 (続き)**

機能	Cisco Nexus 5500 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
スイッチあたりの ISL インスタンス	6	8 : Nexus 5548 スイッチ 48 : Nexus 5548UP スイッチ 96 : Nexus 5596UP スイッチ
VFC インターフェイス	288	288
割り当てられた FCID の最大数	576	2048
ファイバ チャンネル フロー	32	32

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。
3. 論理インターフェイスは、ポート数と VLAN の数を掛け合わせたものです。このパラメータはポート プログラミング処理の負荷を反映し、スパニングツリー モードまたは設定に依存しません。
4. 24,000 のエントリがユニキャスト MAC アドレスに予約され、3,400 のエントリが IGMP グループに予約されます。

表 5 に、レイヤ 2 スイッチング、ファイバ チャンネル、および FCoE 設定を使用する Cisco Nexus 5000 シリーズ ユニファイド ファブリック スイッチが含まれるトポロジでの設定の制限値を示します。

**表 5 Cisco Nexus 5000 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 スイッチング、ファイバ チャンネル、および FCoE の設定の制限値**

機能	Cisco Nexus 5000 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
スイッチあたりのアクティブ VLAN/VSAN	504	507 (FCoE がイネーブルの場合は 504) 31 は VSAN 用。
VLAN/VSAN ID スペース	未予約領域 4013	未予約領域 4013
STP のインスタンス	12,000	12,000
IGMP スヌーピング グループ	1000	1000
スイッチあたりの FEX の最大数	12	12
MAC テーブル サイズ	13,800 <sup>3</sup>	16,000
スイッチ ポート EtherChannel の数	16 ユニット	16 ユニット (組み合わせて 16 を超えず、EtherChannel ごとに合計で最大 16 ポート)
SPAN セッション	2 つのアクティブ セッション TX 送信元として 32 の送信元 VLAN	2 つのアクティブ セッション TX 送信元として 32 の送信元 VLAN

表 5 Cisco Nexus 5000 プラットフォームのスイッチでの Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 スイッチング、ファイバチャネル、および FCoE の設定の制限値 (続き)

機能	Cisco Nexus 5000 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
設定可能な QoS グループ (クラス デフォルトを含む)	6	6
ドロップなし QoS グループ	2 (FCoE を含む)	3 (FCoE を含む)
スイッチあたりの VLAN ACL (VACL)	128 (10 個の一意の VACL)	1024 (128 個の一意の VACL)
EtherChannel あたりのメンバインターフェイス	16	16
FEX ポート チャネルの数/vPC (FEX の最大数を超過)	496	576
スイッチあたりのネイティブ FC リンク	16	16
N Port Virtualization (NPV) ポート グループあたりの Fabric Login (FLOGI; ファブリック ログイン) または FDISC の数	106	255
仮想または物理 F ポートあたりのゾーン (すべての VSAN を含む)	32	32
スイッチあたりのゾーン セット (すべての VSAN を含む)	32	500
物理ファブリックあたりのゾーン メンバ (すべての VSAN を含む)	640	8000
スイッチあたりのゾーン (すべての VSAN を含む)	320	8000
SAN ファブリックの最大直径	7	12
スイッチあたりの FSPF インターフェイス インスタンス	192 ユニット	512 ユニット
スイッチあたりの ISL インスタンス	6 ユニット	16 ユニット
VFC インターフェイス	160	160
割り当てられた FCID の最大数	320	2048
ファイバチャネルフロー	32	32

1. 検証されたトポロジ: 一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限: 対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。
3. 24,000 のエントリがユニキャスト MAC アドレスに予約され、3,400 のエントリが IGMP グループに予約されます。

## レイヤ 2 スイッチング Adapter-FEX/VM-FEX の設定の制限値

表 6 に、Cisco Nexus 5500 シリーズの Adapter-FEX/VM-FEX 設定が含まれるトポロジでの設定の制限値を示します。

表 6 Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 スイッチング Adapter-FEX/VM-FEX の設定の制限値

機能	Cisco Nexus 5500 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
仮想イーサネット インターフェイス上の VFC の数	40	40
Cisco Nexus 5500 のポート プロファイルの数	1000	1000
同時に VMOTION される Cisco Nexus 5500 の仮想マシンの数	それぞれ 10 個の vNIC を備えた 5 個の VM	それぞれ 10 個の vNIC を備えた 5 個の VM
VNIC のシェーピングがイネーブルにされた仮想イーサネット インターフェイスの数	2000	2000
タグなし CoS が設定されている仮想イーサネット インターフェイスの数	2000	2000
サーバ：サーバごとのアダプタの数	1	1
サーバ：サーバごとの VNIC の数	50	96

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。
2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。

## レイヤ 2 スイッチング Cisco TrustSec の設定の制限値

表 7 に、Cisco Nexus 5500 シリーズ Cisco TrustSec (CTS) 設定を含むトポロジでの設定の制限値を示します。

表 7 Cisco NX-OS Release 5.2(1) レイヤ 2 スイッチング CTS の設定の制限値

機能	Cisco Nexus 5500 プラットフォーム	
	検証されたトポロジ <sup>1</sup>	上限 <sup>2</sup>
セキュリティ グループ アクセス コントロール リストの ACE	128	128
セキュリティ グループ アクセス コントロール リストの VLAN	100	100
セキュリティ グループ アクセス コントロール リストの SGT/DGT 権限リスト	100	100
SXP 接続の数	4	4
IPv4-SGT マッピングの数	2000	2000
CTS インターフェイスの最大数	192	192

1. 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。

2. 上限：対応する機能について個別にテストした最大スケーリング能力を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがこれ以上大きいスケールに対応できる場合は、将来のソフトウェア リリースでこの上限が大きくなる可能性があります。

## 関連資料

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダのマニュアルは、次の URL から入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9670/tsd_products_support_series_home.html)

次に、Cisco Nexus 5000 シリーズ および Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダに関連するマニュアルを示します。

## リリース ノート

『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 2000 Series Release Notes』

『Cisco Nexus 5000 Series Switch Release Notes』

## コンフィギュレーション

『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1)』

『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1)』

『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Limits for Cisco NX-OS Release 4.2(1)N1(1) and Release 4.2(1)N2(1)』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fibre Channel over Ethernet Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Layer 2 Switching Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Multicast Routing Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Quality of Service Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS SAN Switching Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Management Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Unicast Routing Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series Switch NX-OS Software Configuration Guide』

『Cisco Nexus 5000 Series Fabric Manager Configuration Guide, Release 3.4(1a)』

『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide, Release 6.x』

『Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender Software Configuration Guide』

## メンテナンスおよび操作ガイド

『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Operations Guide』

## インストールガイドおよびアップグレードガイド

*『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 5500 Platform Hardware Installation Guide』*

*『Cisco Nexus 2000 Series Hardware Installation Guide』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Software Upgrade and Downgrade Guide, Release 4.2(1)N1(1)』*

*『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Nexus 5000 Series Switches and Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extenders』*

## ライセンスガイド

*『Cisco NX-OS Licensing Guide』*

## コマンドリファレンス

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS FabricPath Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fabric Extender Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fibre Channel Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Fundamentals Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Layer 2 Interfaces Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Multicast Routing Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS QoS Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Security Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Management Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS TrustSec Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS Unicast Routing Command Reference』*

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS vPC Command Reference』*

## テクニカルリファレンス

*『Cisco Nexus 5000 Series and Cisco Nexus 2000 Series Fabric Extender MIBs Reference』*

## エラーメッセージおよびシステムメッセージ

*『Cisco Nexus 5000 Series NX-OS System Messages Reference』*

## トラブルシューティングガイド

*『Cisco Nexus 5000 Troubleshooting Guide』*

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

©201-2012 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 201–2012, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.

